

# コンサート

## 「四行妙道の楽・一具」

2024年12月10日(火) 19:00

アクロス福岡円形ホール  
(福岡市中央区天神)

主催:くさびら企画  
企画・構成:河合拓始

ご挨拶

本日はお集まりくださり、ありがとうございます。  
当団体主催で毎年12月に、ここアクロス福岡円形ホールで公演を行うのも、  
四年度目になりました。

当初の主催名義は、初年度のコンサート内容にちなんで、  
「クリスチャン・ウォルフの音楽コンサート実行委員会」でしたが、  
今年度から「くさびら企画」に変わりました。内容と名称が合わなくなってきたためです。

さて本日の演奏会曲目は、去年のコンサート「自然真音楽」と大きく関係しています。

昨年の多様なタイプの演目のなかに、  
 「四行妙道の楽」という器楽五重奏曲がありました。  
 それと同じ編成でもっと曲を作りたくなり、新作をたくさん書き下ろして、  
 一挙初演するのが本日のプログラム内容です。合計14曲です。  
 出発点に、「四行妙道の楽」があったので、それを拡張し、  
 関連づいた曲たちということで、「一具」と名付けました。  
 (「一具」はもともと雅楽の用語で、組曲といった意味です)。

詳しい曲目紹介は後のページにゆずります。  
どうぞお楽しみいただけましたら幸いです。

来年度以降も、「くさびら企画」ではコンサートを開催していく所存です。  
今後の展開もお楽しみに。どうぞよろしくお願いいたします。

河合拓始（くさびら企画 代表）

.....

【スタッフ】

音響・録音：江島正剛(ジャバラ倶楽部)

照明:内田正信(アクトワン)

ピアノ調律：川内順一郎（ピアノファクトリー・クジラ）

映像収録：牧園憲二

受付:松崎早織、松崎壺慧、川内依子

ポスター・パンフレット製作:OddRooming

企画・構成：河合拓始

主催：くさびら企画

助成:(公財)西日本シティ財団

後援:福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団

※令和6年度第61回福岡市民芸術祭参加公演

協力：九州大学大学院芸術工学研究院長津研究室、武満徹の小宇宙企画の会、  
jiji printing、OddRooming、カフェナギコバスキ、辻菜津子、Studio Kura、ピアノファクトリー・クジラ、  
イエナコーヒー、ヌワラエリヤ、オルオル、エスポワール音楽院

# 【プログラム】

(曲数・曲順はチラシ掲載から変更になっています)

## 第一部

- 1.「四行妙道の楽 (しぎょうみょうどうのがく)」
- 2.「輪賀 (りんが)」
- 3.「均平 (きんぺい)」
- 4.「火水の儀 (かすいのぎ)」
- 5.「紫雲英 (げんげ)」
- 6.「行来 (いくる)」
- 7.「頭渦 (とうず)」

・・休憩10分・・

## 第二部

- 8.「風気 (ふうき)」
- 9.「縁側の声」
- 10.「戸幌 (へぼろ)」
- 11.「登取 (とっしゅ)」
- 12.「填星 (てんせい)」
- 13.「ぎじら」
- 14.「早瀬 (はやせ)」

全作曲・作詩:河合拓始

(作曲年は2024年。ただし1.は2023年、9.は2023-2024年)

※1.以外は本日が初演です

\*\*\*\*\*

河合拓始 ……ピアノ、鍵盤ハーモニカ(10)、声(2,6,8,13)

梶大也 ……オーボエ、鉄琴(9)、手拍子(7)、声(8,13)

内田遼 ……トロンボーン、鳴子(9)、声(6,8,13)

長津結一郎 ……鍵盤ハーモニカ、声(8,13)

上野ゆみこ ……打楽器、歌(9)、声(2,6,8,13)

打楽器:パンデイロ、ヘボロ、ジャンベ、カホン、カシシ、シンバル、  
和太鼓(小)、鉦、鳴子、カスタネット、鈴、馬子鈴、トライアングル、  
フィンガー・シンバル、ガンザ、グングル、チャフチャス、手拍子、  
ウインド・ホイッスル、ハーモニック・パイプ、パタパタ

## 【曲目解説】

河合拓始

### 第一部

#### 1. 「四行妙道の楽 (しぎょうみょうどうのがく)」

昨年コンサート「自然真営楽」で初演した曲。

「自然真営楽」は、江戸時代の東北の思想家・安藤昌益の著作「自然真営道」に基づいていた。

題名の「四行」は、昌益の用語で、「火」「水」「木」「金」の四つの「気」のことを指す。中国由来の「五行」のうち「土」を最重要視して別格に位置づけ、他の四つを「四行」として、独自に捉え返したのです。

その四つは互いに精妙に変化し関係し合っています。その関わり合いを「妙道」と呼びました。

本日はまずこの曲から始めます。打楽器はパンデイロのみ登場します。

#### 2. 「輪賀 (りんが)」

曲中、歌というよりも声が、楽器の一部のように出てきます。

後半は、テンポアップして、リズムが強調されます。

#### 3. 「均平 (きんぺい)」

今日の音楽は、音楽的には「四度」の音程が、様々に張り巡らされている曲が多いです。

それが、和風ないしアジア的な印象の一因になっています。

しかし、この曲は半分くらいは「三度」を強調していて、その意味では(乱暴にいうと)西洋的な響きかもしれません。

#### 4. 「火水の儀 (かすいのぎ)」

昌益の「火気」と「水気」の関わり合いのようなイメージ。速いテンポの曲です。

#### 5. 「紫雲英 (げんげ)」

紫雲英はレンゲソウ。花・植物ですので、「木気」の一端でもあります。

一面に咲く様が紫の雲を思わせるために、この漢字が当てられています。

冒頭、様々な周期のフレーズが重なりあったあと、短い音のやりとりが集積していきます。

#### 6. 「行来 (いくる)」

福岡県糸島市の福吉エリアでは、集落内で情報を伝達する手段として、太鼓(触れ太鼓)が現在も使われています。その"太鼓ことば"を翻案してみました。

冒頭は「もってこい、もってこい」(回覧板など)、その後のセクションでは「はーやくこいこい、はーやくこい」。

最後の部分は、福岡市西区(糸島半島東岸)の西浦(にしうら)に伝わっている祭りで歌われる

「ひょーかりーらい」を引用しています。豊漁を祈願する祭で子供たちが家々を訪ねて、歌います：

ひょーかりーらいりーいーらいりーらいりーいりーいーらいりーいーらい ひょっこ！

今ではことばの意味するところはわからなくなっています。

この曲の途中、実際に声を出して歌うところもあります。

#### 7. 「頭渦 (とうず)」

ピアノと鍵盤ハーモニカの掛け合い、手拍子の掛け合いから始まり、

さまざまなリズムの重なり合いや応酬で、曲が進んでいきます。

演奏者のこの円形位置ならではの、空間を行き交う音のやりとりにご注目ください。

## 第二部

### 8.「風気 (ふうき)」

演奏者5人全員がことばを発し(一種のラップです)、楽器演奏と入り乱れる曲です。  
ことばは、河合の自作詩「何か#98」(2022年作)を一部改変したものです。

「何か#98」 河合拓始  
切符買った途端にこうだ  
やぶから棒に宣言が相いつぐ  
発信元は、ぼくでオレで、あんたでアイツだ  
(発信元は、オレでキミで、わたしでアイツだ)  
すべからくこの世の仕組みはそうになっている  
三十年と五十年と十年の違いなんて微々たるもの  
結局宇宙的な一瞬の永遠をぼくらは生きている  
放つコトバの受け手は未来だ  
いや未来は今だ  
オトとコトバとカラダが一緒くただ  
ぐらぐらグリグリ回れ回るんだ  
嘘もマコトもカイツブリよろしく砂に埋もれて溶け出すまでだ  
ぶるっぶるっと苦しむまでもなかった  
あやつ、こやつ、そやつの意地とムホンと張りボテが交叉してただけ  
わたしの体内を貫く一条は一貫しヒカリたる本質をただ強め否が応なる  
もうサレンダー、もうサレンダー  
カイコが渦巻く、変態の奇跡  
楽しい魔法効果がダダ漏れる

曲の最後で、ぐるぐる回す楽器の登場にもご注目ください。

### 9.「縁側の声」

2023-2024年の作詞作曲。

ゆっくり静かな曲で、上野ゆみさんのソロヴォーカルです。

身の裡からの 声が  
素振りを消して 響く  
葉の蔭に 潜み

雲に 魅かれ  
日の光に 溶ける  
不思議の 営み

瑠璃色の 淵を渡り  
櫛の実 けして行ける  
世の惑いを 捨てて

縁側の川の 水面を見つめる  
あなたの眼差し 遠くに  
ざわめき 揺れ 揺れる



## 【出演者紹介】

### ★河合拓始 (かわい・たくじ) …作曲、ピアノ他

1963年兵庫県神戸市生まれ。幼時よりクラシックピアノを学び、その後現代音楽に興味を持つ。1987年頃から即興演奏を始める。京都大学卒業後、1991年東京藝術大学大学院(音楽学専攻)修了。在学中から即興音楽家としてソロやアンサンブルのほか様々なジャンルのアーティストと共働する。近年は現代音楽作品コンサートと即興ライブのほか、作曲、トイピアノや鍵盤ハーモニカの演奏会、朗読や舞踊との共演、ことば表現やパフォーマンス、一般の方々とワークショップなど活動は多岐に渡る。2008年・2012年欧州演奏旅行。2011年ニューヨークでの第一回UnCaged Toy Piano Festivalに招聘参加。東京で二十数年活動後、2012年から福岡県糸島市在住。CDに図形楽譜による「柳慧ピアノ音楽」など。2021年、任意団体「クリスチャン・ウォルフの音楽コンサート実行委員会」(現:くさびら企画)を立ち上げ、現代音楽・即興音楽の公演を企画する。公式ウェブサイト:<http://www.sepia.dti.ne.jp/kawai/>

### ★上野ゆみこ (うえの・ゆみこ) …打楽器、歌

学生時代より独学でドラム・パーカッションを学び、ジャズ・ロック・ラテン等様々なジャンルの演奏を経験。頭数合わせで参加したイベントをきっかけにブラジル音楽に傾倒、故本田健太郎氏にブラジル音楽全般とパンデイロを師事。その際、歌曲の多いブラジル音楽の魅力に触れ歌いはじめる。歌をJAZZシンガーのMayumi氏に師事。これまでに福岡・東京・長崎・山口・佐賀のジャズクラブ、ホテル等で多様な演奏経験をもつ。2014年には1ヶ月間ブラジルに遊学。趣味さんぽ。

### ★内田遼 (うちだ・りょう) …トロンボーン他

福岡を中心に活動するトロンボーン奏者、音楽講師、地域音楽コーディネーター。ポピュラー音楽、特にキューバ音楽やラテンジャズメインに演奏や作編曲を行う。これまでに中洲JAZZ、Isla de Salsa、JAPAN LATIN MUSIC FESTIVAL "timba" 等に出演。ラテンジャズバンドFilomela、サルサバンドOrquesta Violetaを主宰。現代音楽や即興演奏にも携わっており、ジョン・ゾーン「COBRA」やテリー・ライリー「In C」の福岡公演等に参加。

### ★梶大也 (かこい・まさや) …オーボエ他

1990年生まれ。専門は音楽学、歴史学。在学中は九大フィルハーモニー・オーケストラに在籍し、オーボエ、学生指揮を担当。その後は芸工アヴァンギャルド・コンソート等で古楽、現代音楽の演奏を行う。近年は九州交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団等に曲目解説を、『音楽の友』、『Mercure des Arts』に音楽批評を寄稿している。主要業績に、『「騒音と「法悦境」のあいだに—山田耕筰の音と耳」(細川周平編著『音と耳から考える』掲載)、『「赤とんぼ」は戦後の空に翔ぶ』(『歴史地理教育』927号掲載)、『《沖縄を返せ》のプラティーク』(『琉球沖縄歴史』2号掲載)。現在、九州大学大学院芸術工学府博士後期課程在学中。

### ★長津結一郎 (ながつ・ゆういちろう) …鍵盤ハーモニカ他

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走／伴奏する研究者。1985年北海道生まれ。ピアノ、合唱、吹奏楽、オーケストラ、路上ライブ、インディーズバンドなどの活動を通じすくすく育つ。2016年より福岡を拠点とし、ワークショップやアートマネジメントに関する教育、演劇・ダンス分野のマネジメントやプロデュースなどを行う。2005年PTNAピアノ・コンペティション全国大会入選(グランミューズ部門 Y カテゴリー)。東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程(芸術環境創造)修了。現在、九州大学大学院芸術工学研究院准教授。

## 【ご支援(クラウドファンディング)の募集ご案内】

当コンサートは、独立の任意団体として企画運営しています。  
ある程度大きな会場で、多人数で公演を行うには、様々な経費が必要で、  
入場料収入だけでは賄うことができません。  
「くさびら企画」では、今回のコンサート、そしてこれからの企画においても、  
福岡発の有意義な音楽文化の一助となるべく、活動をしていく所存です。  
ぜひ皆様のご支援をお願い申し上げます。

ご支援方法は次の2つです。

(1)下記のクラウドファンディング・サイトから。

＜コンサート「四行妙道の楽・一具」を応援してください!!＞

<https://camp-fire.jp/projects/803133/>

ご支援への返礼品として、さまざまなリターンを設定しています。

「四行妙道の御菓子」「自然真音楽Tシャツ」の他、

当コンサートの演奏曲のリハーサル音源や楽譜集、

ピアノソロ・バージョン音源、そして"スペシャル・ピアノ・ピース"まで、

どうぞお好みのリターンをお選びください。

ご支援申込は、12月31日23:59までです。

(2)「くさびら企画」の銀行口座宛に直接のご支援。

クラウドファンディング運営会社の手数料(17%)なしに、全額が届けられます。

ご送金の宛先は:

福岡銀行(銀行コード0177)・糸島支店(店番号255)

普通口座番号 2295066

名義:くさびら企画

【今回のコンサートに向けてご支援をいただいた皆様】

※12月3日までにご支援いただいた皆様です。心より感謝御礼申し上げます。

大西克知様、亀井ひろ子様、中村英晴様、(株)Studio Kura様、ピアノファクトリー・クジラ様、  
井出まりこ様、岡松裕子様、中村勇治様、匿名御希望の皆様